

授業科目 教育原理(教育史・教育課程の意義含む)

【担当教員名】 吉田 重和	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	○
【概要・一般目標：GI0】 本講義は、受講者が、教育の基本原則について理解を深めることを目標とする。「教育とは何か」「なぜ学校へ行くのか」。本講義では、これらの問いに対する答えを探るべく、教育の史的展開や思想的変遷を中心に、教育（及び教育機関）を取り巻く様々な事象を網羅的に取り扱っていききたい。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 「QOL サポーター」及び「教師」の資質を併せ持った「QOL サポーターとしての教師」像について、自らの言葉で考え、説明できる。 2. 「教育とは何か」について考察することの意義を説明できる。 3. 教育の意義について、人間の成長・発達との関係から説明できる。 4. 教育は社会の中で展開される営みであり、教育に対し社会変化の影響があることを理解する。 5. 日本教育史及び西洋教育史における基礎的な知識を持ち、それらの歴史的な意義を説明できる。 6. 学校と教師の現状について、「教職概論」で得た知識等を生かしつつ、複数の観点から説明できる。 7. 教育課程に関する基礎的な事項を理解し、学校教育におけるカリキュラムの在り方について説明できる。 8. 教育の方法及び技術について、理論的背景とともに、学校現場において求められる基礎的な事項を理解する。 9. 総合的な学習の時間の原理と方法を理解し、自身が指導する際の指針を立てることができる。 10. 特別支援教育をめぐる現状と課題について、実践に即して理解し、自身が指導する際の指針を立てることができる。 11. DVDの視聴とグループワークを通して、様々な時代／国・地域における教育実践の概要とポイントを理解する。 12. 指定課題文の読解とグループワークを通して、様々な時代／国・地域における教育実践の概要とポイントを理解する。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		1	講義
2	教育の目的と本質		2	講義
3	教育と人間の成長・発達		3, 11	講義、グループワーク
4	社会の変動と教育		4, 12	講義、グループワーク
5	日本の教育・世界の教育（1）		5	講義
6	日本の教育・世界の教育（2）		5, 11	講義、グループワーク
7	日本の教育・世界の教育（3）		5, 12	講義、グループワーク
8	日本の教育・世界の教育（4）		5	講義
9	学校と教師		6, 11	講義、グループワーク
10	教育の内容と教育課程		7, 12	講義、グループワーク
11	教育の方法と技術		8	講義
12	総合的な学習の時間・外国語活動の原理と方法		9, 11	講義、グループワーク
13	特別支援教育の原理と方法（1）		10, 12	講義、グループワーク
14	特別支援教育の原理と方法（2）		10	講義
15	まとめ		1-10	講義、グループワーク
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	最新教育原理 教職概論—ワークシートに基づいた実践的 理解	安彦 忠彦、石堂 常世	勁草書房 大学教育出版社	2010・2,200円＋税 2015
その他の資料	必要に応じて資料を配布			
【評価方法】 平素の学習状況（出席状況、授業態度、ワークシートや小レポートの内容／50％程度）及び定期試験の結果（50％程度）を総合的に判断して評価する。		【履修上の留意点】		